



さっちゃん通信 2019年12月1日号 Vol.174

病院ホームページ <http://www.hagicvhp.jp/>

← レントゲンフィルム搬送系のロボット「さっちゃん」。現在、充電期間中！！

認知症への理解を深めよう ～第31回在宅研修会を開催しました！～

萩市民病院地域連携室は、年2回研修会を開催しています。今年で16年目を迎えました。いつもご参加いただきありがとうございます。

日本は超高齢化社会に突入し、病院から在宅医療への移行がされる中、地域包括ケアシステムの構築が急務と言われています。顔の見える連携を強化し、住民の一人一人が住み慣れた地域で、安心していつまでもいきいきと明るく暮らせる事を目的の一つとしています。



今回は令和元年10月31日(木)に河井クリニック院長の河井裕幸先生をお招きして、『認知症について～地域で生活していくために、精神科クリニックができること～』というテーマで研修会を開催し、当日は市内の医療機関から64名の参加がありました。参加された方の職種も、医師や看護師・准看護師を始め、臨床検査技師・放射線技師・理学療法士・作業療法士・介護支援専門員・社会福祉士・精神保健福祉士・各種相談員・事務員など、多職種に渡るなど、認知症に

対する関心の高さが伺えました。

研修会では、現在、日本人の65歳以上の4人に1人が認知症もしくはその予備軍である事や、認知症の症状に与える影響、認知症ケアの基本となる「患者の認知症を診るのではなく、認知症をもった患者を診る」といった、盛りだくさんの内容を説明されました。

また、それぞれの内容について、具体的な事例を交えて、認知症に関する基礎知識から最新事情までの分かりやすい説明に、出席は熱心にメモを取られていました。貴重な精神科医療に触れる良い機会となりました。



お忙しい中、たくさんのご参加と、多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。次回のご参加も心よりお待ちしております。

地域連携室長・看護師 野村 恵美子



萩市民病院と萩・福祉複合施設かがやきで構成される「萩・健康維新の里」は、市民の誰もがその人らしく、健康に暮らしていけるよう生活を支援するところです。

「萩・健康維新の里」理念

- 変化する社会情勢に進取の気性をもって取り組み、新しい健康の在り方を提案します。
- 現状に妥協せず、創意工夫を惜しまず、暖かく思いやりのあるサービスを実践します。
- 自らの役割を明確にし、地域と連携して、保健・医療・福祉を統合したサービスを目指します。

萩市民病院の目標

- ◇ 私たちは、絶えず自分を磨き、質の高い医療を提供します。
- ◇ 私たちは、提供するサービスを説明した上で、あなたとともに医療を実践します。
- ◇ 私たちは、自分に課せられた仕事を全うし、病院事業を維持・発展させます。

長北医学会に参加しました！

10月6日（日）に萩本陣において、第73回長北医学会が開催されました。この医学会は山口県長北地区（萩市・長門市医師会）の医師によって立ち上げられたもので、山口県でも歴史のある学会の一つです。当院の看護部からも2例の看護研究の成果を発表しました。1例目は「看護の標準化・業務改善への取り組み～クリニカルパスを導入して～」というテーマです。

クリニカルパスとは入院から退院に向けての治療、検査や手術、投薬、リハビリ、食事、排泄、入浴などの医療行為の流れを計画的に作成したスケジュール表の事です。医療従事者用と患者さん用があり、クリニカルパスを用いることで患者さんに入院中の経過や治療内容を分かりやすく伝えることができ、入院生活の不安を少しでも解消することが出来ます。また医療従事者にとってはクリニカルパスにより患者さんに対する治療行為や説明が明確になるため、医療を確実に安全に提供し、医療の質の標準化が出来るというメリットがあります。当院ではこれまでも心臓カテーテル検査などの入院患者さんに対しクリニカルパスを使用していました。今年度は看護の標準化と業務改善を目的に新たに鼠径ヘルニア手術・下肢静脈瘤手術、大腸癌術後補助化学療法のカリニカルパスを作成しました。まだ数例しか使用出来ていませんがこれから使用件数を増やし、クリニカルパスを改善・充実させることで、医療の質の向上に努め、患者さんが安心して入院生活を送れるように努めていきたいと思ひます。



2例目は「パンフレットを作成・使用した慢性心不全患者に対する継続した生活指導を開始した取り組みについて」を発表しました。当院では慢性心不全の増悪で再入院となる患者さんが多い現状があります。心不全増悪の原因として、医学的要因（心筋梗塞・不整脈・弁膜症・感染など）、非医学的要因（食事内容、水分摂取量過多、薬の飲み忘れ、活動量など）があります。患者さんの在宅での生活に関わる非医学的要因に対し、在宅で継続して生活指導を行うことで、患者さん自身の意識や・セルフケア能力を高め心不全増悪リスクを低下させることを目的としています。患者さんの身体的・精神的状態、生活環境・社会背景は様々であり、独居の患者も多く、患者さんに合わせた生活指導が必要となります。患者さんが住み慣れた地域で継続して生活できるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めている現在、介護サービスを利用しながら在宅療養を行う高齢心不全患者にこそ継続した生活指導が必要であり、病院と地域の連携が重要となります。今後は、在宅療養中、入院中、心不全増悪時など、どの段階においても、患者さんの状態や病織、社会的背景に合わせた適切な指導を、より密に細やかに行えるようなシステムを構築していければと考えています。今後も継続して在宅で患者に関わられているケアマネージャー、訪問看護師、保健師をはじめとする各種スタッフとの情報交換、連携を行っていきたくて考えました。

西病棟看護師 古谷 千枝・藤村 あずさ

年末・年始の外来診療について

年末の外来診療は12月27日（金）までとなります。令和2年は1月6日（月）より通常通り診療をいたします。ただし、救急・急患につきましてはこの限りではありません。

寒くなったら ~白菜~



東洋を代表する野菜

『白菜としめじの海苔和え』

<材料 1人分>

白菜	50g (1枚)
しめじ	15g (8本)
味付け海苔	2g (1/2袋)
薄口しょうゆ	2.5g (小さじ1/2弱)
みりん	1g (少々)

- ① 白菜は茹でて2cm巾に切り、水気を絞る。
- ② しめじは小房に分けて、フライパンに並べ、水が出て色が付くまで焼く。
(香りを出すため)
- ③ 味付け海苔は手でちぎっておく。
- ④ ①~③を和えて、しょうゆとみりんで味付けする。

白菜は、西洋のキャベツに対し、東洋を代表する葉菜とされています。中国が原産ではありますが、平成30年産野菜収穫量(葉茎菜類)では、キャベツ、たまねぎに次ぐ3番目であり、日本の食生活に深く溶け込んでいます。真夏を除き、ほとんど年中あります。くせがなく、甘味があり、合わせる調味料の味を吸収しやすく、幅広い料理に使われます。先月、糖尿病や高血圧などで当院に通院中の患者さまを対象に「お食事会」を行いました。そこで、白菜を使った料理「白菜としめじの海苔和え」をご提供しました。海苔の香りと白菜の甘味がよくなじみ、減塩なのに美味しいと大好評でした。このお食事会は、当院へご通院の方ならどな



たでもご参加いただけます。次回は2月27日(水)を予定しています(定員20名)。詳細は、院内の掲示をご覧ください。

~リハビリテーション科だより~ **リハビリ散歩(1)**

私は28年間この仕事をしていますが、よく耳にするのは「リハビリは痛いばかりなんではしょう?」とか、「何をされるか恐ろしい!」というご意見です。そこで不安解消の願いを込めて、リハビリテーション科についてご紹介しようと思います。



当科の職員は、理学療法士4名、作業療法士2名、リハビリ助手2名の合計8名です。

それぞれの役割は・・・

理学療法士・・・起きる事や歩くことなど、基本的な動きを中心に運動・練習を担当しています

作業療法士・・・食事や着替えなどの行為を利用した運動・練習、手指の運動・練習や、飲み込み(嚥下)の一部、を担当しています。

リハビリ助手・・・患者さんの受付や誘導などを担当しています。

次号からは、リハビリテーションとは何か、なぜ行うのかなどを説明していきます。

リハビリテーション科長・理学療法士 **大島 剛**

萩市民病院 外来診療担当医師一覧

令和元年12月1日現在

受付時間

午前8:30～11:30／午後13:00～16:30

診療時間

午前8:45～12:00／午後13:30～17:00

外来診療は基本的に「予約制」です。
 なお小児科専門外来は、既に診断がついて他院の紹介状をお持ちの方を除いては、まず午前中の一般外来を受診していただき、必要な検査等を行った上で専門外来へ院内紹介をいたします。
 いずれの場合も救急・急患はこの限りではありません。

診療科	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	循環器内科 呼吸器内科	午前	米澤 文雄	米澤 文雄	中村 武史	刀禰 尚	米澤 文雄
			中村 武史	刀禰 尚	西村 滋彦	内田 耕資	内田 耕資
			西村 滋彦	内田 耕資		西村 滋彦	中村 武史
	神経内科	午前					佐野 泰照(大学)
	消化器内科	午前	松本 賢治	松本 賢治	松浦 桂司	松本 賢治	松浦 桂司
糖尿病外来	午前/午後			田口 昭彦(大学)			
小児科	一般外来	午前	橋高 節明	橋高 節明(隔週)	橋高 節明	橋高 節明	橋高 節明
			三宅 晶子	三宅 晶子(隔週)	三宅 晶子	三宅 晶子	三宅 晶子
	※専門外来	午後	神経(第1・3・4) 午前・午後(伊住)	アレルギー(第1) (真方)	心臓(第3) (三宅)		
外科 (午後は手術)	午前初診	中村 丘	坂野 尚	中村 丘	坂野 尚	工藤 淳一	
	午前再診			工藤 淳一	中村 丘	坂野 尚	
整形外科 (午後は手術)	午前	村上 智俊 (初再診)	手術のため休診	村上 智俊 (初再診)	村上 智俊 (再診)		
		川上 武紘 (再診)		川上 武紘 (再診)	川上 武紘 (初再診)	川上 武紘 (初再診)	
放射線科検査	終日	米城 秀	米城 秀	米城 秀	米城 秀	米城 秀	
麻酔科 (ペインクリニック)	午前		原田 英宜(大学)				
内視鏡検査	午前/午後	厚東 由里佳(大学)	松浦 桂司	松本 賢治	伊藤 駿介(大学)	松本 賢治	

※ 午後からの内科外来、小児科外来は、専門外来のみとなっています。初診の方は電話予約のうえ、午前中の外来を受診されま
 すようお願いいたします。なお、救急・急患についてはこの限りではありません。

※ 糖尿病外来、麻酔科、及び大学の内科非常勤医師の診察は院内紹介のみです。
 初診あるいは他院からの直接の紹介は受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

萩市民病院 予約センター 電話(0838)25-1235 ※土・日・祝日を除く月～金 8:30～17:00受付

朝は電話が混み合います。つながりにくい場合は、お手数ですが時間をおいておかけ直し下さい。
 また、おかけ間違いのないよう十分にご注意願います。

他の医療機関からの受診の際は、紹介状をお持ちいただきますよう、よろしく願います。



さっちゃん通信ぼやきコーナー
(編集後記)

寒い季節になり家で過ごす時間も多くなってきました。娘が庭に花を植えたいというのでホームセンターに行ってきました。花と聞くと春をイメージしていましたが冬でもたくさんの花があります。中でもパンジー、ピオラはたくさんの種類があり花の色や形がそれぞれ違います。カラーパリエーションが豊富で単色のもの、グラデー
 ションのあるもの、2種類以上の色が入っているのもの、咲き進むと色に変化するものなど色だけでも様々なものがあります。以前、叔母が飼っているシーズ犬の顔に似ているとあって好んでパンジーの花を庭に植えていまし

た。それ以降、私もシーズ犬にしか見えなくなってきましたが・・・。
 点が3つあるとなぜか顔に見えたり、何かが顔に見えることをシミュクラ現象というそうです。人間が他の生物と出会うと目をみたり、逆三角形の配置を顔として脳が認識するため起こる現象だそうです。花卉の形と配置がウサギに見える「ラビット」、馬の顔のように見える「馬面」といった特徴的は花姿をもつ品種もあるそうです。
 厳しい寒さにも負けず健気に可憐の花を咲かせるパンジーとピオラ。私たちの気持ちをほっこりと温めてくれますね。

【金子】